



「ゼロカーボンシティ」宣言

野木町は「水と緑と人の和でうるおいのあるまち」を将来像として掲げています。水清らかな思川や渡良瀬遊水地、緑豊かな平地林や田園風景など、美しい自然に育まれた明るく優しい町民性は町の宝物です。先人たちが守り伝えてきた、この自然と人との調和のとれた住みよいふるさとを受け継ぎ、全ての町民が喜びに満ちた暮らしが送れるよう、次の世代にこのふるさとを残さなければなりません。

近年は、経済発展や技術開発などにより、私たちの生活は豊かで便利になりました。一方では、温室効果ガスが要因と考えられる地球温暖化が、世界各地で異常気象をもたらし、災害が多発するなど、気候変動の影響は私たちの身近なところで顕在化してきています。

こうした中で、世界各国では次々にカーボンニュートラルの実現に向け動き出しております。我が国においても、緩和策と適応策を着実に実行に移すよう、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを宣言しています。

地球温暖化対策は、一人では決して解決することはできない緊急の問題であります。町民・事業者・町が一体となり身近な問題としてとらえ、今できることを着実に継続して実践していく必要があります。町民がこれからも安心して暮らせるよう、野木町は2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すべく「ゼロカーボンシティ」を、ここに宣言します。

令和5年7月29日

野木町長 真瀬宏子